

学校だより 麦の穂



令和5年度 12月号 11/22 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 986人(+2人)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

一雨降るごとに富士山の冠雪が下り、雪化粧が濃くなっていきます。

本校では、10月下旬からインフルエンザの流行が始まりました。感染状況を見極めたり、感染拡大を防いだりするため今までに5つの学級が臨時休業（学級閉鎖）の措置を取っています。

そんな状況下ではありましたが、11月15日には、運動会を無事開催することができました。感謝申し上げます。

さて、早いもので今年も12月。学校は、12月22日（金）の終業式に向け、2学期のまとめをしていきます。終業式が無事迎えられますように、学校は、基本的な生活習慣を意識しながらの生活を引き続き守っていきます。保護者の皆様には、引き続き健康観察アプリLEBERでの報告をお願いいたします。



■運動会で身に付いた力を次につなげる

校長 風間 裕之



運動会が終わりました。昨年は3日間でしたが、本年度は1日で

全学年を実施しました。運動会を盛り上げようと奮闘した児童会

の子供たちも、1日開催でより充実感を味わったのではないかと

思います。今年の運動会のスローガンは、「もりあがれ！みんなが

主役の運動会」。児童会の子供たちが討議を重ねて考えたスローガンです。当日の

閉会式での挨拶でも触れましたが、『みんなが主役』のフレーズがとても大切だと考

えています。主役である一人一人の子供は、それぞれに満足できた運動会だったのではないのでしょうか。

学校では、この運動会で身に付いた力を自覚できるようにすること、そして次につ

なげることを意識して学習活動に取り組んでいきます。具体的には、それぞれが

目標に向けてがんばった過程を認めること、運動会を通して育まれた力が発揮で

きている場面を捉え、価値付けることです。ここで注意するのは、結果を認めること

ばかりにとらわれず、努力の過程に目を向けること。特に勝負事では勝ち負けに目が

向きがちですが、将来に使える力としては、何回勝ったかという力より、目標に向け

てどれだけ粘り強く取り組んだかの方が大事だからです。「子供を伸ばすには、能力

をほめるより努力をほめること」が大切であると言われます。「勝ったのは、練習が

ばったからだね。」「負けちゃったけど、みんなと助け合いながら

真剣にがんばっていたね。」等々、ぜひ御家庭でも目標に向かう

姿を認めていただければと思います。

